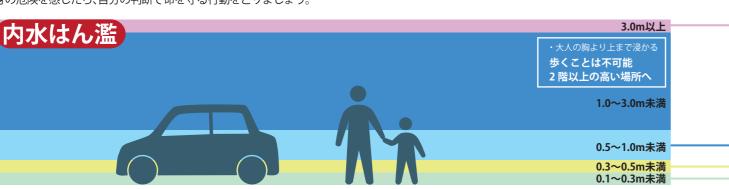


# 避難行動の確認・目次

Confirmation of evacuation behavior · Contents

### はじめに Introduction

地図で自宅等を確認し、下の図から大雨時にとるべき行動の目安を確認しておきましょう。また、ここで示す内容はひとつの目安です。 身の危険を感じたら、自分の判断で命を守る行動をとりましょう。



## 長岡京市防災ハザードマップ CONTENTS

## 絶対に近づかない

大人の腰あたりまで浸かる

2階以上の高い場所へ

大人の膝あたりまで浸かる ・自動車のエンジンが停止

歩く場合は十分注意 自動車から退出

・子どもの膝あたりまで浸かる 高い場所へ・自動車のブレーキ性能が低下 自動車は

子どもが歩くのは困難、 自動車は 安全な場所へ移動

ステップ3 あなたの家庭での行動指針

# 「小畑川等・桂川はん濫`



### ステップ1 あなたのお家の位置は何色?

ステップ2 あなたのお家は何階建て? (集合住宅の方は、住んでいる階数)

4階以上

1~3階

3階以上

1~2階

2階以上

1階

5.0m以上 3.0~5.0m未満 (2階部分まで水没のおそれ) 0.5~3.0m未満 (1階部分まで水没のおそれ)

0.5m未満 (床下浸水のおそれ)

洪水や土砂災害時には大変危険な状態になることが 想定されます。

自宅の外へ避難(立退き避難)

災害発生前に速やかに避難行動をとりましょう。 避難所等へ移動することがかえって危険な場合には、 「近隣の安全な場所※1」への避難や「屋内安全確保※2」 を行い、少しでも命が助かる可能性の高い避難行動を とりましょう。

- ※1近隣の安全な場所:避難所ではないが、近隣のより安全な場所や建物等 ※2屋内安全確保:その時点に居る建物内において、より安全な部屋等への移動

## 自宅に待機(屋内安全確保)

自宅などの居場所や安全を確保できる場所に留まる、 又は屋内の2階以上の安全を確保できる高さに移動 する等の避難行動をとりましょう。

### 目次

P 1 避難行動の確認・目次

P 2~3 マップの見方・避難所リスト

P 4~5 索引図

地図(浸水・土砂災害警戒区域①~5) P 6~15

地図(内水はん濫) P16~17

地図(浸水継続時間) P18~21

P22~23 情報と避難行動の目安

P24~25 避難行動を考える

大雨の場合 P26~27

P28~29 土砂災害の場合

P30~35 地震

防災情報 P36~37

P38~39 災害時にともに助けあう制度

**P40** 地域の取り組み

非常持ち出し品

付録 長岡京市防災ハザードマップ概要版







屋外への避難が困難な場合は、自宅2階の 山と反対側の部屋へ

「長岡京市防災ハザードマップ」は、長岡京市民のための防災情報誌です。 概略位置を示した参考図としてご利用ください。

不動産取引の資料とするもの、告知義務の発生するものなど、お知りになりたい内容に応じて国土交通省、京都府、長岡京市に お問い合わせください。なお、本誌に掲載されている防災情報は2019年3月現在、地図は2017~2018年に調製した長岡京市 地図データをもとに作成しています。

## 避難行動の原則

「避難行動」は自然災害から「命を守るための行動」です。「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、自分は 災害に遭わないという思い込みをせず、自らの判断で避難行動をとることが大切です。

### 避難行動をとるにあたっては、次のことを知っておきましょう。

- ①どの場所にどのような危険があるか知っておきましょう。 ②それぞれの危険に対して、どのような避難行動をとればよいか知っておきましょう。
- ③どのタイミングで避難行動をとることが望ましいか知っておきましょう。

### 命を守るためにとる、次の全ての行動が避難行動です。

- ①避難所等への立退き避難をすること
- ②「近隣の安全な場所」(近隣のより安全な場所・建物等)への立退き避難をすること
- ③「屋内安全確保」(その時点に居る建物内において、より安全な部屋等へ移動すること)

それぞれの住んでいる地形や、家の構造、家族構成などには違いがあるので、避難行動の方法やタイミングは 異なります。自宅等が、立退き避難が必要な場所なのか、あるいは、2階以上への移動等で命に危険が及ぶ可 能性が無くなるのかについてあらかじめ知って、どのような避難行動をとるのかを考えておきましょう。

巻末